

スポーツ法学

履修年度	2024
担当教員	森 浩寿
連番	
曜日・時限・開講期	火曜日 1時限 後期
期間	後期
授業形態	講義
分野系列	選択科目（共通）
学年	2年生
単位	2
開講キャンパス	東松山
科目ナンバリング	181SPSC0521 J
科目とDPの関連	
備考	
最終更新日	2024/1/12 16:05

授業の概要	スポーツ法学は、スポーツに参加・関与するすべての人や物の権利問題、法的問題について学習するものである。具体的には、国や自治体のスポーツへの責務を示す実定法、条例の問題、スポーツ権の問題、性や障害、国籍による差別問題、ドーピング、選手資格登録、処罰などのスポーツルールや団体規約の問題、選手と団体間における資格の問題やチームとの契約、移籍や補償の問題、スポーツ仲裁に代表される発生した紛争の解決策の問題、プロ・スポーツを巡る法的問題、肖像権やスポンサーなどスポーツビジネスを巡る問題、そして、これまでと同様に今後も重要な事故の問題、補償、保険の問題などが含まれる。こういった問題について、事例をあげながら解説し、問題解決について検討する。
-------	--

授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) スポーツに参加する人のさまざまな権利に関して議論できる。</li> <li>(2) 団体の自治に関するさまざまな問題について討議できる。</li> <li>(3) スポーツ紛争解決手段の相違について説明できる。</li> <li>(4) プロスポーツ選手の契約にまつわる問題点について論述できる</li> <li>(5) スポーツビジネスを巡る法的問題について解説できる。</li> </ul>
---------	--

DP一覧表	
-------	--

授業の方式	対面方式
-------	------

授業の方法①	基本的に講義形式だが、適宜、ディスカッションを行う。また、リアクションペーパー等を通じて、学生の意見・質問を収集し、次回以降の授業でフィードバックする。 双方向型授業として、manaba を積極的に活用する。
--------	---

授業の方法②	特徴	該当有無
	A：企業や自治体と連携した課題解決型学習（PBL）	
B：討議（ディスカッション、ディベート等）	あり	
C：グループワーク	あり	
D：プレゼンテーション		
E：実習、フィールドワーク		
F：双方向授業（ICT活用あり：クlickー、DBmanaba等）	あり	
G：双方向授業（ICT活用なし：対話型、リアクションペーパー等）	あり	
H：授業前に課題等で事前学習し、授業では復習や応用を行う（反転授業）		
I：外国語のみで行われる授業		
J：インターネットを通じて無償で入手可能な授業教材等を利用した授業		
K：統一試験結果に基づくクラス編成による授業		
L：少人数クラス編成による授業		
M：国内の特定の地域に対する理解を深めることを目的とした授業		

第1回	授業内容	担当教員
	スポーツ法とスポーツ法学	森浩寿
第2回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	ニュース等からスポーツにおける法律問題を探しておくこと	4時間
第2回	授業内容	担当教員
	スポーツ団体の性格と機能	森浩寿
第2回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	前回授業時の配付資料に目を通しておくこと	4時間
第2回	授業内容	担当教員

授業 計画	第3回	スポーツ選手と国籍	森浩寿
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		前回授業時の配付資料に目を通しておくこと	4時間
	第4回	授業内容	担当教員
		スポーツにおける機会均等	森浩寿
		準備学修（予習・復習等）	必要な時間
	第5回	前回授業時の配付資料に目を通しておくこと	4時間
		授業内容	担当教員
		オリンピックをめぐる諸問題	森浩寿
	第6回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間
		授業内容	担当教員
		ドーピングの法律問題	森浩寿
	第7回	前回授業時の配付資料に目を通しておくこと	4時間
		授業内容	担当教員
		スポーツにおける不正行為・八百長	森浩寿
第8回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	授業内容	担当教員	
	プロスポーツ選手の契約① ～野球協約	森浩寿	
第9回	前回授業時の配付資料に目を通しておくこと	4時間	
	授業内容	担当教員	
	プロスポーツ選手の契約② ～ドラフト	森浩寿	
第10回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	授業内容	担当教員	
	プロスポーツ選手の契約③ ～FA制度、ポスティングシステム	森浩寿	
第11回	前回授業時の配付資料に目を通しておくこと	4時間	
	授業内容	担当教員	
	プロスポーツ選手の契約④ ～Jリーグ	森浩寿	
第12回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	授業内容	担当教員	
	プロスポーツ選手の契約④ ～Bリーグほか	森浩寿	
第13回	前回授業時の配付資料に目を通しておくこと	4時間	
	授業内容	担当教員	
	スポーツビジネスの法律問題 ～契約と権利保護	森浩寿	
第14回	準備学修（予習・復習等）	必要な時間	
	授業内容	担当教員	
	スポーツ紛争の解決手段	森浩寿	
第15回	前回授業時の配付資料に目を通しておくこと	4時間	
	授業内容	担当教員	
	総括	森浩寿	
		過去の授業時配付資料に目を通しておくこと	4時間

<b>フィードバックの方法</b>		基本的には学生が論文作成を進め、授業にて助言・修正などの講評を行います。	
<b>教科書</b>		授業の各回に適宜レジュメを配布します。	
<b>参考文献など</b>		G・ポリア「いかにして問題をとくか」、第11版、丸善、1975年、1620円(税込) 芳沢光雄「いかにして問題をとくか・実践活用編」、丸善出版、2012年、1512円(税込) 保坂弘司「レポート・小論文・卒論の書き方」講談社学術文庫、1978年、950円(税込)	
<b>成績評価の方法・基準</b>	<b>評価方法</b>	<b>割合(%)</b>	<b>評価基準</b>
	筆記試験	0	なし
	実技評価	0	なし
	レポート評価	100	論文の質・量によって判断する。
	平常点評価	0	なし
	その他	0	なし
<b>履修上の注意</b>		卒業研究は原則、2・3年次に専門演習Ⅰ、Ⅱ、経済学演習を履修した同一教員の講義が受講可能です。経済学演習、専門演習Ⅱを履修していないなどの学生が履修を希望する場合は学部事務室を通じて相談し許可を得ること。	
<b>連絡先・連絡方法など</b>		授業中に質問していただいて構いません。または、受講生にお知らせする私のメールアドレスにより連絡してください。	
<b>実務経験①</b>		なし	
<b>実務経験②</b>		なし	
<b>その他</b>		なし	